



特集

## 平成26年度 園芸事業推進対策について

本会の園芸事業は、近年、特に顕著となっている気象災害発生や生産現場の高齢化による栽培中止の影響をうけ、取扱高は減少傾向にあります。

一方、生産現場においては一部若手新規生産者の参入や集落営農組織による園芸品目作付拡大など、新たな取り組みが始まっています。また、昨今の農業情勢変化、農業政策の転換により関係各位からはこれまで以上に園芸事業への期待が高まっている実態にあります。

本会はこれら園芸事業をめぐる情勢をチャンスととらえ、本県が園芸主産地として継続されるよう「純情産地いわて」の生産基盤確立に向け取り組むとともに、多様化する流通において的確な情報収集と販売戦略により有利販売を実践します。

園芸部

季節をめぐる

四季折々

「七月」



七月の異名 | 文月(ふみづき)/七夕月(たなばたづき)/秋初月(あきはづき)/七夜月(ななよづき)  
穂含月(ほふみづき)/女郎花月(おみなえしづき)

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 7月の行事・祝日

7日(月) ……………七夕  
21日(月) ……………海の日  
29日(火) ……………土用の丑

梅雨の季節到来。暑さと湿度で体調不良になることも多く、仕事もはかどらず身も心もどうもしゃっきりしない。そんな日が、岩手では梅雨が明ける八月お盆の頃まで続く。かなりと暑いだけならまだしも、どうにも湿度がやっかいだ。

暑気払いには苦味のある食べ物を。湿気払いには甘い食べ物。ゴーヤ、セロリ、みょうが、大葉、さくらんぼ、水菓子……。体の熱を冷ましてくれる寒涼性の食材なら、きゅうり、トマト、豆腐、スイカ。余分な水分を排出する手助けとなるのがとろろこし、大豆、空豆……。とすると喉ごしのいいそうめんを食べがちだが、夏バテにならないためにも栄養バランスを考え、今年こそは日頃の不義理を詫言いで感謝の気持ちを伝えたいと思うこの頃。

この時期の風物詩といえば、中元や暑中見舞い。年の初めの年賀の挨拶と、年の暮れの歳暮の時期のちょうど真ん中。涼やかな水菓子や夏の果物の中元品をインターネットで見ながら、今年こそは日頃の不義理を詫言いで感謝の気持ちを伝えたいと思うこの頃。

純情産地発  
クララ vol.780

KLARA

2014  
7

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

### contents

みんなの力で!	季節をめぐる 四季折々 …………… 02	いわて純情むすめ決定 …………… 09
がんばろう!岩手 純情産地いわて	特集 平成26年度園芸事業推進対策について … 03	農業勇士の熱き情熱「AGRICULTURE!」 … 10
	細胞イキイキ、老化を遅らす“応援レシピ” 「いただきま〜す!」 …………… 06	NEWS ワイドアングル …………… 12
	みんなの分教場 …………… 07	いわて銀河チャレンジマラソン …………… 13
	各部発直便 TOPICS …………… 08	イーハトーブの担い手便り …………… 14
		純情人 …………… 15
		インフォメーション …………… 15



## 行動計画

実行具体策	行動計画	
	26年計画	25年実績
1.第2次園芸産地確立計画の実践		
野菜の生産拡大	80,000ト	67,024ト
花きの生産拡大	87万箱	78万箱
2.値決めルート販売の拡充 (内、野菜販売目標額)	51億円 (43億円)	48億円 (41億円)
3.通いコンテナ取扱数量の拡大	50万枚	48.1万枚

## 平成26年度 園芸事業取扱計画

品 目		取 扱 高	取扱数量
販 売	野 菜	171.8億円	80,447ト
	果 実	30.2億円	1,358ト
	花 き	37.5億円	866千ケース
	乾しいたけ	1.1億円	
	計	240.5億円	
購 買		25.4億円	種苗・段ボールほか

## 平成26年度 主な販売促進活動

項 目	内 容
産地直送TV「いわて純情流」(4年目) 1年目：旬の食を伝える 2年目：生産者の思いを伝える 3年目：食の安全安心を伝える 4年目：うまいを伝える	○じゃじゃじゃTV内のミニ番組(約5分間) 5月～1月の毎月第4土曜日を放送予定とする。 旬の食材をなるべく多く紹介し、消費者に素材の特徴を生かしたおいしい食べ方を紹介し、購買意欲を向上させる。 (ナビゲーター奥村奈緒美アナ継続)
食品メーカーとのコラボ	○ハウス食品：いわて純情野菜カレー(7月予定) 県内量販店への純情野菜カレーレシピの提案 TVCM放映(昨年は石川遼) ○味の素：いわて純情野菜中華フェアタイアップ 県内量販店(生協)にて中華フェアの開催予定
平成26年度岩手県農協野菜部会販売促進会(いわて純情野菜オープニングフェア開催)	○重点量販店での全JAによる一斉開催(7月上旬) 各JAの重点量販店で産地参加開催
極早生りんどう販売促進会	○県品種・地域品種の極早生「りんどう」を大田市場にPR 展示・小売店タイアップ販売(7月中旬)
いわて純情フェア	○全県重点取引先・JA重点取引先 ○重点販売先等へのマネキン投入試食宣伝
いわて純情りんごコンテスト2014	○中生種(10月開催)と晩生種(11月開催)の2部構成 ○出品品を盛岡クロスステラスで販売
いわてフラワーコンテスト2014	○県内各産地のより優れた「花」を競う品評会の開催と販売 (8月末予定)
しいたけ販売対策	○丸ごとしいたけ簡単レシピ作成・配布と定期試食宣伝(マネキン) ○東北主産県合同販促(浜祭り参加) ○主産県合同大田市場内販促継続
純情りんご杯小学生バレーボール育成大会(全国スポーツ少年団バレーボール交流会岩手県予選)	○大会スポンサーとして「いわて純情りんご」のPRと「食育活動」を兼ねる(11月開催)



# 平成26年度 園芸事業推進対策

### 【平成26年度基本方針】

- ◎生産基盤の拡充(「第2次園芸産地確立計画」の実践)
- ◎生産者の安定収益確保
- ◎「オールいわて」としての販売戦略構築による販売力の強化

生産基盤拡充のため「園芸産地確立事業」による継続的な支援をより効果的にすすめるとともに、担い手支援対策と連携した生産拡大推進をおこないます。販売起点による品目導入・産地育成のため、産地直送などの値決めルート販売の拡大や買取販売の充実につとめ、生産基盤の強化をはかります。

「純情産地いわて」のファンづくりのため、全県重点市場・重点販売先への責任供給体制の構築をすすめるとともに、長期・安定的な販売をおこない、生産者の安定収益確保につとめます。

## 1. 生産基盤拡大対策

- (1)JA部会活動の充実と地域の核となる担い手育成の推進
- (2)専作大型農家育成のための個別経営規模の拡大支援と新規生産者の掘り起しによる販売農家数の確保
- (3)団地化グループ化の推進による、計画生産・責任供給のできる産地育成の推進
- (4)反収向上や生産性の改善による収益性の向上促進と生産流通資材の改善・適正化によるコスト削減の取組み実施

## 2. 販売強化対策

- (1)生産者収益の安定化に向けた産地直送販売や買取など値決めルート販売の取り組みと、生産情報の的確な把握による情報販売・計画販売の強化
- (2)実需者向け取引や加工・業務需要対応の拡大推進と、輸出事業における販路拡大への取り組み
- (3)輸送体制の合理化効率化および保鲜流通の充実による商品性の向上
- (4)マスメディアの活用と生産者参加型PR活動への取り組み

## 3. 広域事業の展開

- (1)重点販売先への安定供給実現に向けたJA間・集荷場間連携による共同販売の促進

## 4. 生産・流通コスト低減対策

- (1)コスト削減のための生産流通資材の改善、および低コスト資材の利用拡大の促進

# みんなの分教場



営農対策部 営農技術課  
技術主管  
菊池利行

## ほうれんそう 夏場の増収対策

### 軽米町での実証

平成23年と24年の2年間、中央農業改良普及センター軽米普及サブセンターが中心となり、夏場の生産安定を目的として先に挙げた4項目についての実証を行っています。その結果、実証区では遮光とつま面換気

などを行うことが重要な技術となります。これらの処理を行うことでほうれんそうの生育環境が改善されるとともに、萎凋病などの土壌病害が大幅に減少します。

- 1 計画的な土壌消毒
- 2 生育中のかん水
- 3 遮光資材の活用
- 4 つま面の開放

夏場の生産安定のためには明渠の設置や深耕による耕盤破砕など排水対策を行ったうえで

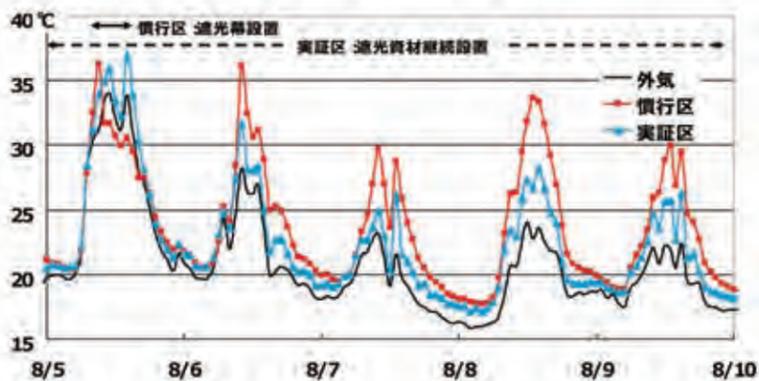
### 高温期の生産安定対策

夏期冷涼な気候を活用した本県の雨よけはほうれんそうは、その品質の良さから夏場のトップ産地としての地位を確立してきました。しかし、近年は夏場の猛暑や連作が長く

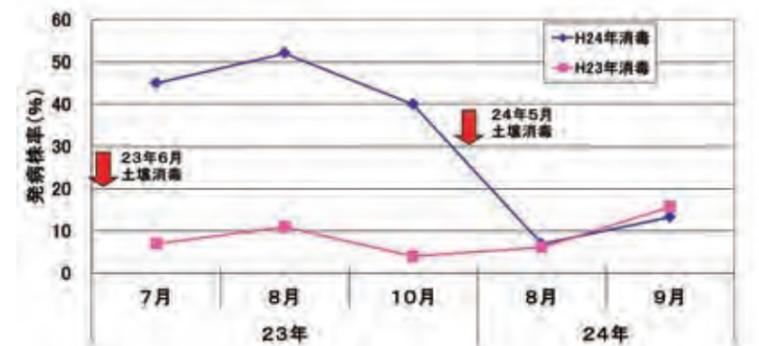
### ほうれんそうの現状

なったことなどによる土壌病害の発生などで収量が不安定になっているのが現実です。このため、県やJAでは夏場の生産安定技術を整理し、現場に提示してきました。

■図-1 遮光、換気によるハウス内気温の上昇抑制(平成24年8月上旬)



■図-2 2カ年の萎凋株率の推移



(資料・中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター)

よる温度上昇抑制効果が認められた(図1)ほか、土壌病害の発生も大幅に減少(図2)させることができ、結果として資材の経費以上の大幅増収となっています。

### 気象変動への対応

今年も春先の干ばつや気温の変動、降雹やゲリラ豪雨など不安定な天候が続いており、今後もこのような天候が続くことが懸念されます。



遮光資材の活用とつま面の開放



## ホウレン草よりビタミンCが多い夏場のキャベツ たっぷりキャベツのメンチで 肌細胞の老化防止

### 作り方

- 1 キャベツは5cm長さのせん切りにし、ボウルに入れて小麦粉を振り混ぜる
- 2 大きめのボウルに挽き肉とAを入れ、粘りが出るまでよく練り混ぜたら①のキャベツを加え、さらによく混ぜる
- 3 8等分の小判型に形作り、衣の材料を順につける
- 4 ライパンの2分の1の深さまで揚げ油を入れ、170℃に熱したら③を中火で2分間、次に弱火で3～4分間揚げ、裏返して4～5分間揚げる

### 材料(4人分)

牛豚合挽き肉400g、調味料A(塩小さじ1・こしょう少々・ナツメグ少々・溶き卵1個)、キャベツ6枚(300g)、小麦粉大さじ2、衣(小麦粉適量・溶き卵1個・パン粉適量)、揚げ油適量

### 栄養ポイント

ビタミンUという珍しい成分を含んでいるのが、キャベツ。キャベジンともいわれる成分で胃腸薬の名前に使われるほどの、潰瘍を治す働きがある抗潰瘍性ビタミンのこと。また、キャベツは血液凝固作用があるビタミンKも多く含み、傷口を治す効果。そしてニコトニンという強力な発がん物質を抑制するペルオキシナーゼという酵素も含む。キャベツの青汁は胸やけ、ゲップ、胃もたれ、二日酔いのムカつきを和らげる働きがある。  
「キャベツと魚介のビュル風サラダ(材料…キャベツ、キュウリ、エビ、ホタテ貝)」や「キャベツのごま和え(材料…キャベツ、ピーマン、わかめ)」も添えてヘルシーパワー抜群のキャベツをたくさん摂取し、健やかに夏を乗り切りましょう!



### 私も応援隊

青果バイヤー  
写真右内山 勇児さん  
写真左澤田 憲彦さん

春みどりは夏場の栽培が難しい品種でより手間がかかりますが、生産者の皆様におかれましては熱中症など体調に気をつけて、やわらかくて甘いおいしいキャベツを出荷下さるようお願いいたします。



料理監修/高橋ヒサ子  
管理栄養士、健康運動指導士  
特定保健指導実践者  
いわて糖尿病療養指導士  
HACCP(食品衛生危害分析)指導者  
(公社)岩手県栄養士会理事

細胞イキイキ、老化を遅らす「応援レシピ」  
「キャベツのメンチ」



## 全国にその名を馳せた「南部甘藍」こそ いわて純情野菜のルーツ

甘藍、玉菜とも呼ばれるキャベツの原産地はヨーロッパの地中海沿岸や大西洋沿岸地帯で、数千年前からケルト人が栽培していたという古い歴史をもっています。日本へは鎌倉時代(約800年前)に入ってきたようですが、その頃は観賞用の葉ボタンのことを言っていたようです。結球性のものが入ってきたのは江戸時代の末で、岩手県にキャベツが導入されたのは140年前の明治7年でした。明治37年には盛岡市仙北町・神子田町・鉾屋町界隈で「甘藍」の栽培が始まり、丸いその形から「玉菜」と親しみを込めて人々は呼び、丹精込めて育てられてきました。やがて、岩手の風土に適して育成された「南部甘藍」は鉄道便で東京への出荷も試みられていました。  
「南部甘藍」の時代から100年以上を経て、いまや全国ブランドになった春系キャベツ「いわて春みどり」。水分を多く含んでパリパリとしてみずみずしく、やわらかな食感と甘みが特長です。

2014

# いわて純情むすめが 決定しました！

一人ひとりに認定証  
が授与されました。

「笑顔をやさしくことなく、  
『いわて』の農畜産物の  
販売・PRを精一杯努  
めます」と決意を表明し  
ました。



- ①旅行、ピアノ
- ②ありがとう
- ③全国の皆様に、いわての豊かな自然の中でのびのびと育った農畜産物を、自分の言葉でPRしていきたいと思っています。そして、いわてのファンを全国にたくさん増やしたいと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします



さとう まみ  
佐藤 真美

## 今年もオリジナルソングによる ライブ活動をおこない、 若い世代へ「純情産地いわて」を PRします。

- ①趣味・特技
- ②好きな言葉
- ③純情むすめになったの意気込み

- ①食べること、社交ダンス
- ②いつでもポジティブ
- ③憧れのいわて純情むすめになれてとても嬉しく思います。全力笑顔で、全力PRをし、いわての良さをもっともっと全国の皆さんに知っていただけるように一生懸命努力します！よろしくお願いいたします



さとう りさこ  
佐藤 里沙子

- ①競技ダンス、ピアノを弾くこと、読書すること
- ②向上心
- ③わたしは岩手が大好きです！純情むすめの活動を通して、岩手の良さを全国の皆さんに伝えたいと思っています。一生懸命、岩手の農畜産物をPRしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします



しのへ あい  
四戸 藍

- ①日本舞踊
- ②一歩踏み出す勇氣
- ③たくさんの方々に岩手を好きになってもらえるよう、元気に活動していきたいです！よろしくお願いいたします



はしもと わかな  
橋本 和香奈

- ①お菓子作り、書道
- ②思いやり
- ③岩手県の美味しい農畜産物と美しく広大な自然を、たくさんの皆様に知っていただけるよう笑顔をやさしくことなく、一生懸命頑張りたいと思います。そして私自身も活動を通して勉強し、共に成長していきたいです。1年間よろしくお願いいたします



くどう めい  
工藤 恵衣

各部から最新情報をピックアップいたします。

## 各部発直便



### 営農対策部

#### 農産物の安全性を確認する取組みについて

J A全農いわてでは、安全な農産物生産のため、残留農薬分析、小麦DON分析、放射能測定等の各種分析を実施しています。

残留農薬分析は、全国のJAグループに先駆けて平成5年より開始し、平成15年からはより多くの農薬成分を分析する方法・機器に変更し体制を強化しました。現在は192成分(昨年度は179成分)を対象に分析しており、岩手県内に流通する農薬成分の約7割をカバーしています。今年度は園芸品目400点、玄米400点の分析を計画しています。

また、まもなく収穫を迎える小麦については、赤かび病によるかび毒DONの分析を実施し、暫定基準値を下回ることを確認しています。

今後も分析技術の維持・向上に努め、JA、関係機関とともに安全な農産物生産に取り組めます。

(営農技術課)



残留農薬分析機器



放射性物質測定装置

### 園芸部

#### 品質競争力の強化

いわて純情野菜幹事会(京浜市場10社)では、本県産野菜の重点品目を中心に「品目部会」を開催しています。

品目部会では、産地側から生産出荷情報をつなぎ、各市場からは、現状の販売動向と今後の見通し等の情報交換を行い、販売強化に努めております。加えて、市場担当者と一緒に各品目のサンプルを他県産と見比べて評価する「品質査定会」を実施し、本県産野菜の品質確認を行いながら、競争力を強化しています。

6月9日には「ほうれんそう品目部会」を開催して品質査定会を行いました。総体的に本県産ほうれんそうの評価は高く、安心してお客さんに薦められるので、この品質を継続して欲しいと要請されました。

今後とも、各品目部会で品質査定会をおこない、産地側と協力して他県産に負けない品質を維持しながら販売強化に努めていきます。

(東京園芸販売センター)

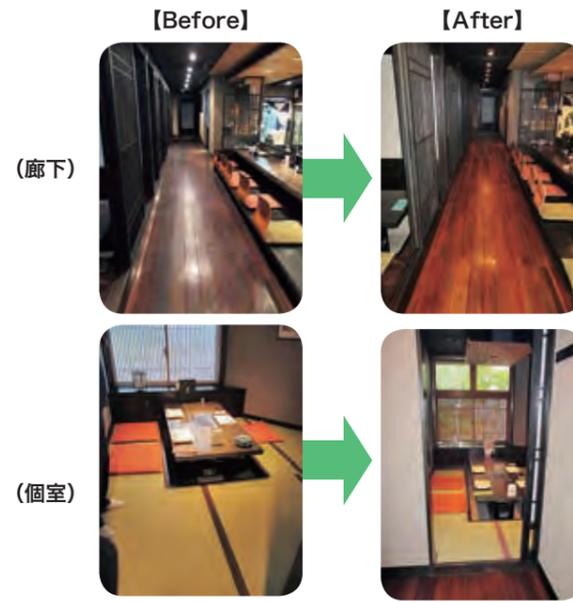


ほうれんそう品質査定会の様子

### 東北広域施設事業所

#### いわちく『銀河離宮』改装工事のご紹介

当店舗は今年7月で10周年を迎えます。6月1日(日)～6月8日(日)の期間で店内の改装工事を行い、6月9日(月)にリニューアルオープンしました。主な改装部分は、トイレ・個室テーブルの増設・内部、外部の塗装工事を行いました。リフォームした内装と、おいしい料理を用意して、皆様のご来店をお待ちしております。



(廊下)

(個室)



牛舎内の様子



適度な運動が良質な牛乳につながります



搾乳作業の様子



大自然に囲まれた環境です



藤森康隆さん



辰柳勝之さん

# 牛と会話する

酪農家  
辰柳 勝之さん  
藤森 康隆さん

## 農業勇士の熱き情熱

# AGRICULTURE!

牛のかわいらしさが好き

大自然あふれる葛巻町で牛とともに生きる生活スタイルを楽しむお二人。大変な作業も多い酪農だが、「疲れたとき、牛に触ると心が癒される。生き物として牛は本当にかわいらしい」と、やさしい眼差しで牛を見つめる辰柳さん。牛たちに与える飼料の栄養バランスを考えて飼料が育つ土づくりに携わるなど、牛のために…と注ぐ愛情の深さは各作業場面に見て取ることができま。

「酪農は自分のやり方次第の部分が多く、自分らしさが出せる仕事」と語る辰柳さんは青年部に所属し、休日はその活動が主。が、時には友達と温泉に行ったり、好きな映画を観に行ったりなど明日への英気を養ってくれる「自分のための休日」という時間も大切にしています。

自然や生き物を相手に  
スローライフを地で行く

藤森さんが酪農を始めたのは25歳のとき。それまでは別の仕事をしていましたが実家で酪農を営む両親に、何か起きてからでは遅いと思って実家に戻り、酪農を継ぐことに。当初は不安な気持ちもあったものの、その当時注目された「スローライフ」のように、自然や生き物を相手に楽しむ生活スタイルが「酪農だ」と気づいたと言います。

今は趣味の範囲でチーズ作りもしている藤森さん。「このまま続けていって、チーズ作りを事業規模で出来るようになれば、いいな」と、明るくデッカイ抱負も。

「牛は大きな体をしているけど、じつは臆病な生き物。その分、やさしく愛情を注いで育てあげると牛の体調や牛乳の質が良くなる、やりがいがある仕事です。やり方次第では自分の時間もたくさん作れます。大変な部分も多いけれど、これからの人と一緒に乗り越えて行けたら、と思っています」。



作業の中にも、牛への愛情と情熱を感じます



将来の夢について語る藤森さん



JA 全農いわては生産者と消費者を  
安心して結ぶ懸け橋になります。

今回のインタビュー内容はJA全農いわてウェブサイトにも掲載されています。  
詳しくはJA全農いわてホームページで。



### 県内カントリーエレベーター環境整備に向けて 6月20日(金) 平成25年度CE運営管理・環境整備コンクール表彰式

JA全農いわては6月20日、市内で平成25年度CE運営管理・環境整備コンクール表彰式を行いました。これは昨年立ち上げた岩手県JA農業倉庫・カントリーエレベーター保管管理協議会の活動の一環として今年の2月に実施されました。

キャッチフレーズを「見られる施設から「見せる施設」への意識の転換を図ろう」とし、近年多発している品質事故の防止、また作業者の安全性に配慮した適正な運営管理を目指します。

県内各JAよりエントリーされた6JA11施設について採点が実施され、見せる施設への意識の転換のなか、各部門で基本に忠実な管理と環境整備が行われている、と評価されたJAいわて花巻の東部カントリーエレベーターが最優秀賞を獲得しました。

優秀賞はJA岩手ふるさと衣川カントリーエレベーター、奨励賞はJA江刺西部カントリーエレベーターとなりました。

管理マニュアルの不備や整理整頓に課題のある施設もあり、県全体の意識向上につなげていくため、今年度も引き続き実施していく予定です。



今回受賞された施設担当者の皆さん

### いわての牛乳消費拡大PR! 5月30日(金)・6月1日(日) いわて牛乳の日イベント

JA全農いわて畜産酪農部は5月30日、JR盛岡駅と花巻駅、水沢駅、一ノ関駅の4か所、駅を利用される方へ「県産牛乳200ml」と「牛乳の日PRリーフレット」、「じゅじゅじゅ!いわての観光ガイドブック」の配布をおこないました。

このイベントは6月1日が「牛乳の日」であることから、岩手県産の美味しい牛乳をもっと多くの人に飲んでもらい、牛乳に関心をもってもらうと同時に、酪農・乳業の仕事をもっと多くの人に知ってもらうことを目的として、JA全農いわて畜産酪農部とJA、牛乳普及協会、県が共同で企画したものです。

イベントは朝の7時から行われ、通勤や通学で駅を利用する多くの方々に県産牛乳のPRを行いました。また、このイベントには、JA新しいキャラクター「モーくん」、「ミーちゃん」と2013いわて純情むすめから2人が参加し、「岩手の牛乳を飲んで、今日も一日頑張ってください」と声をかけながら牛乳を手渡していました。

6月1日にも、盛岡市内2か所で牛乳配布イベントが行われ、二日間で計2,600個の牛乳の配布をおこない、県産牛乳と岩手県の酪農をPRしました。



5月30日、盛岡駅でのイベントの様子

## 第10回 いわて銀河 チャレンジマラソン

### 全農岩手県本部 ランニング同好会のチャレンジ

#### 100km 駅伝の部(男女混合)

区画	距離	所属	氏名
第1区画	11km	県本部長	小田島 利昭
第2区画	24.4km	畜産酪農部 酪農課	立花 智昭
第3区画	14.2km	畜産酪農部 家畜市場課	阿部 宏司
第4区画	16.9km	畜産酪農部 和牛登録課	稲辺 拓美
第5区画	6.8km	管理部 総務人事課	佐藤 真理江
第6区画	17.4km	園芸部 県北園芸センター	松田 誉至
第7区画	9.3km	園芸部 東京園芸販売センター	佐藤 武志

#### 100kmの部(男子)

距離	所属	氏名
100km	畜産酪農部 畜産統括課	戸田 優

#### 出場結果

100km駅伝の部(男女混合)／チーム全農いわて  
順位／12位(38チーム) タイム／9:14:13  
100kmの部(男子)／戸田 優  
順位／703位(完走867人中) タイム／13:34:19

6月8日(日)県内で第10回いわて銀河チャレンジマラソンが開催されました。

JA全農いわて米穀部は、「いわて純情米」のPRと認知度向上をはかるため、昨年より今大会に協賛しており、「いわて純情米」及び「JA全農いわて」のロゴをプリントしたゲート看板やパンフレット、ボランティアスタッフ用キャップが会場では使用されました。

大会は100km、50km、10kmそれぞれを一人で走る部門に総勢1786人、100kmを7区画にわけて駅伝方式で走る部門に49チームのエントリーがありました。

JA全農いわての職員で結成されているマラソン同好会のメンバーも昨今大会より参加しており、今大会にも100km駅伝の部(男女混合)と100kmの部(男子)にそれぞれエントリーしました。お揃いのユニフォームの胸元に「餅カーボローディング」、背中には「いわて純情米」を背負い、文字通り、体を張って岩手の農畜産物をPRしました。

100kmコースははまだ夜も明けきらない4時に北上総合運動公園をスタートし、金ヶ崎、豊沢ダムを通過し、大会1番の難所である中山峠を越えて西和賀、そしてゴール地点の雫石となっています。大会前半は常に小雨、後半は一転して快晴で気温が急上昇。参加者の体調への影響も心配されましたが、JA全農いわてメンバーは快調に走り抜け、各々が掲げる個人目標タイムを切ろうと精一杯頑張りました。個人で挑戦した戸田職員は満身創痍になりながらも、最後まで諦めず、動けなくなった足を引きつりながらゴールテープを切る事ができました。

出場メンバーは左記のとおりです。

### 花き産地確立にむけて 6月11日(水) 平成26年度花き販売対策会議

JA全農いわて園芸部は6月11日、盛岡市内のホテルで、平成26年度花き販売対策会議を開催しました。今回の会議は岩手県産花きの本格的な販売期を迎えるにあたり、重点生花市場・JA・関係機関を集め販売対策協議をおこなうことで、今年度の販売に一体となって取り組んでいくことを目的としています。

平成26年度花き販売計画は、取扱高37.5億円、数量87万ケースとしており、花き産地確立にむけ、「生産基盤の維持・拡充」「生産者の安定収益確保」「安定販売の実践」の3つの基本方針で取り組んでいきます。また、販売促進活動として、東京・大阪での展示イベントやアレンジメントコンテスト、県産花きの生産振興と良質生産を目的とした「いわてフラワーコンテスト2014」、生産量全国1位の岩手県産りんどうを使ったブライダルアレンジを提案する「りんどうブライダルフェア」などを年内に開催予定しています。



今年度の花き販売について協議する様子

### 「オールいわて」として販売力強化 5月23日(金) 平成26年度いわて純情野菜販売対策会議

JA全農いわて園芸部は5月23日、盛岡市内のホテルで、平成26年度いわて純情野菜販売対策会議を開催しました。会議には、JA担当者、生産者、重点市場関係者、行政機関など82名が出席。県産野菜の本格的な出荷を前に、事業方針や販売対策などを話し合いました。

今年度の野菜販売目標172億円(前年139億円)を掲げ、「オールいわて」としてJA間協議、全県調整による責任販売体制の強化を図るとともに、栽培履歴記帳の徹底や自主的な残留農薬分析結果の継続など安心・安全「いわて純情ブランド」の確立を引き続き目指します。



活発な情報交換はかられました

# 「農業生産法人に向けて始動 特定農業団体みらい二渡」



大豆播種作業



役員&オペレータ

**特定農業団体 みらい二渡【奥州市】**  
**地域農業の担い手として 法人化を目指す**

特定農業団体みらい二渡の所在している水沢区二渡地区は、水稲を基幹とした水田単作地帯で北上川流域にあり、奥州市の中央部に位置しています。同団体は、JR水沢江刺駅から南に約8km、農業集落を主なエリアとしており、平成10年から始まった大区画圃場整備事業で創設された1畝の圃場を活用して地域農業に取組むために、平成16年5月に二渡農業受託組合が設立され、主に地域の転作の受け皿組織として活動してきました。

そして、二渡地区圃場整備地区84畝の農用地の利用集積を図り、効率的な農業経営を実現する担い手として法人化を進める準備組織として、本年5月27日に特定農業団体みらい二渡として体制の強化を図りました。

現在、団体の構成員は11名で、基盤整備地区の受益農家126戸と農作業受託契約を締結して地域内54畝の農地を集積し、水稲30畝及び大豆24畝の栽培を行っています。

## 水田圃場整備の取組み・営農の開始

圃場整備は黒石土地改良区時代の平成8年頃から話し合われ、将来の二渡地区の農業の担い手を確保するために基盤整備が不可欠であることから、幾多の紆余曲折を経て200名の



地区地図



二渡排水機場



取材風景

## 特定農業団体みらい二渡の経営概況

- 代表：組合長 阿部 正(79歳)
- 設立：平成26年5月27日
- 所在地：奥州市水沢区二渡66
- 組合員：11名
- 経営面積：平成26年計画54ha(水稲30ha、大豆24ha)
- 施設機械：事務所1棟、機械格納庫1棟、ハイクリブーム1台、播種機2台、汎用コンバイン2台、溝掘り機1台

## 地域農業の担い手として、地域貢献

現在、農作業の受託組織として地域農業を担い今後も農地利用集積を図るとともに、整備された優良農地や豊かな自然条件を活かした新たな農業生産の取り組みについての話し合いが行われています。

以上の受益者から事業実施の同意を取り付け、平成10年県営圃場整備事業として採択されました。しかし、建設工事がスタートしたものの緊縮予算の煽りを受け、事業完了は平成26年度までずれ込み事業開始から15年が経過し、現時点での受益者は126戸まで集約化され本年度から本格的な営農がスタートすることに成りました。農業生産は84畝全圃場を3年サイクルによるブロックローテーションにより水稲及び大豆の生産に取り組み、特別栽培米による付加価値の高いお米と生産性の高い大豆生産が行われています。

また、二渡地区は水害の常習地域で昭和60年に整備された二渡排水機場による地区内の排水対策に加えて、北上川流域に堤防が設置されたことにより、地域を水害から守る体制が確立しました。同団体は水害から地域農業を守り地域住民の生命・生活を守るために二渡排水機場の管理運営を主体的に担い、農業生産に加えて地域の防災活動にも大きな役割を果たしています。

## 農業生産法人化の準備と農地の利用調整

水田転作の受け皿組織として農作業受託組合が活動して、平成29年度の農業生産法人化に向けて7年目の本年5月に特定農業団体として、集落営農を担う組織として再スタートしました。現在は水稲と大豆を中心とした生産ですが、恵まれた土壌条件等を活用した園芸品目の導入も検討されており、圃場整備地区84畝の農地利用調整を更に進め、3年後の法人化に向けた取り組みを加速化させることにより、農政改革に対応できる集落農業の担い手として活躍されることが期待されます。



TAC活動

◎林風舎

# 純情人

JA全農いわての

じゅん じょう びと



畜産酪農部 酪農課

さとう かずたか  
**佐藤 和敬**さん(22歳)

## 趣味・特技

音楽が好きで、最近は洋楽を聴いています。運転中にラジオを聴いていると、気になってしまう曲がよくあって、そこから興味を持つことが多いです。お気に入りのアーティストの来日コンサートの機会があれば、ぜひ行って生演奏を聴きたいです。

## 現在の担当業務

主に県産牛乳・乳製品の消費拡大事業を担当しています。イベントやキャンペーン、CMや広告を通じたメディアでの宣伝等の企画を広告代理店の方と練り、牛乳のPRを行っています。また、さまざまなイベント・スポーツ大会への協賛や牛乳提供も消費拡大事業の一つですので、牛乳の手配や農協主催の乳製品利用拡大イベントへの助成なども行っています。

## 一番印象に残っている仕事は？

6月1日の牛乳の日・牛乳月間のPRイベントやキャンペーンの準備、段取りが印象に残っています。農協や関係先とのやりとり、広告代理店との打ち合わせ、決裁書の提出など、すべてが初めてのことでしたが、どれも非常に大切なことで、大変勉強になりました。先輩職員の方に助けていただくことが多くありましたが、来年は自分ひとりでできるように頑張っていきたいと思います。

## 5~10年後の自分を想像して

先輩職員の方々のように、効率よく業務をこなしていけるような人間になりたいです。専門的な知識も身に付けて、幅広く対応できるようになっていきたいと思います。また、農協や関係先の方々ともよい関係が築けていけたらよいと思います。プライベートでは、甲子園球場で阪神タイガースの優勝試合を生で見るのができたら最高です。

# INFORMATION ~お知らせ~

## いわちく直営店 「銀河離宮」10周年

銀河離宮は開店から皆様に愛されて10周年！そこで、この7月に「10周年祭」を開催致します。リフォームした内装と、10周年特別メニューを用意して、皆様のご来店をお待ちしております。

- 10周年記念会席(7月1日~31日・2名様より)  
 いわて牛 焼肉会席／華菜せいろ会席／しゃぶしゃぶ会席(各種3,000円)  
※ディナータイムには「いわて純情野菜サラダ」をサービス致します。
- 誕生祭記念ランチ(7月7日~12日までの6日間)  
 国産牛サーロインステーキランチ(1セット980円)

その他期間限定のドリンク割引販売やプレゼント抽選会を予定しております。  
 定休日/毎週日曜日

## 後編記集

県内も梅雨入りしジメジメする日が続きますね。そんな中でも6月はいろいろな取材をさせていただきました。野菜、花きの出荷シーズンに前にした販売対策会議や、本会職員が参加した「いわて銀河チャレンジマラソン」などへの取材、そして早起きなどのサッカークワールドカップ観戦、広報担当者としてなかなか充実してきたと思います(笑)。

そんな中でも私にとって一番のイベントは、2014いわて純情むすめが決定したことです！

昨年に引き続き歌と踊りで「純情産地いわて」を県内外に全力でPRしていきます。皆さんぜひ応援宜しくお願いします！

活動内容やステージ裏の意外な顔など、いわて純情むすめ公式フェイスブックにて確認いただけます。

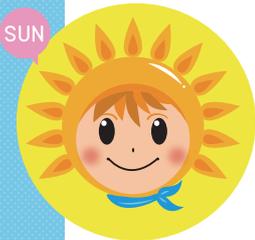
詳しくは全農いわてのHPから  
<https://www.junjo.jp/>

# JAの太陽光発電で始めるエコライフ!



暮らしのパートナーJAがお届けする、  
太陽のクリーンなエネルギーを暮らしに取り入れた「太陽光発電」。

電気代を減らすだけでなく、使わずに余った電力は  
電力会社に売電できて家計にもやさしい。  
さらに天候などに左右されないガスと組み合わせれば、  
売電量はより多くなりおトクです。  
お客様に合わせたご提案から  
JAならではの安心のシステム保証まで、  
太陽光発電とガスの快適な暮らしをサポート。  
さあ、あなたもおトクにエコ生活を始めませんか。



今なら!!

平成26年4月～平成27年3月末の 期間中にご成約の方は

1kWあたり  
1万円で  
最大 **10万円** 値引き!!

¥

いったい、いくらおトクになるの?  
**無料!** 光熱費シミュレーション  
実施中!

さらに!!

キャンペーン期間中お見積依頼の方に  
オリジナルQUOカード  
**500円分プレゼント!**

※数に限りがありますのでなくなり次第終了となります。予めご了承ください。

お問い合わせはお近くの販売店へ

宇石町	JA新いわて・南部LPガスセンター	TEL019-692-4786	軽米町・九戸村	JA新いわて・北部営農経済センター九戸地区担当課	TEL0195-42-3111	奥州市・金ヶ沢町	株式会社手ふるさと協同サービス・LPGセンター	TEL0197-41-3800
八幡平市	JA新いわて・八幡平LPガスセンター	TEL0195-75-0181	盛岡市・矢野町・雫石町	JAいわて中央・燃料課	TEL019-697-3950	奥州市江刺区	株式会社E-ポート・ガス課	TEL0197-35-7874
盛岡市玉山区・岩手町	JA新いわて・東部LPガスセンター	TEL019-683-1121	花巻市	株式会社グリーンサービス花巻・LPGセンター花巻	TEL0198-31-3200	大船渡市	JAおおふなと・燃料課	TEL0192-27-6932
磐前町	JA新いわて・磐前中央支所	TEL0195-66-2444	北上市	株式会社グリーンサービス花巻・LPGセンター北上	TEL0197-68-4800	盛岡市盛岡市	JAおおふなと・高田ガス事業所	TEL0192-54-5000
磐前町・鹿代町	JA新いわて・野田ガス事業所	TEL0194-78-2151	西和賀町	株式会社グリーンサービス花巻・LPGセンター西和賀	TEL0197-85-3332	住田町	JAおおふなと・住田ガス事業所	TEL0192-46-2665
深町町・久慈市	JA新いわて・大野ガス事業所	TEL0194-77-5001	遠野市	株式会社おののサービス・LPGガスセンター遠野	TEL0198-62-5394	一級市西部・平泉町	JAいわて平泉 一関ガスセンター	TEL0191-23-5821
二戸市・一戸町	JA新いわて・北部営農経済センター購買課	TEL0195-22-4361	盛岡市・大橋町	株式会社おののサービス・LPGガスセンター大橋	TEL0193-42-2668	一級市東部	JAいわて平泉 千歳ガスセンター	TEL0191-23-5271



私たち全農グループは、  
**生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋**  
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。